

小学六年
適性検査A
 解答と解説

問一
人
と
人
を
強
固
に
結
び
つ
け
て
き
た
接
着
剤

17

問二				【例】
的	と	な	大	
な	び	人	事	
交	と	間	な	
流	に	関	相	
が	は	係	手	
非	、	を	と	
常	映	感	の	
に	画	情	つ	
少	に	で	な	
な	登	補	が	
く	場	う	り	
感	す	こ	を	
じ	る	と	続	
ら	ひ	に	け	
れ	と	慣	る	
る	び	れ	た	
か	と	た	め	
ら	の	今	に	
。	感	の	希	
	情	ひ	薄	

80 60 40 20

【例】							
	い	意	め	て	と	う	
文	る	見	の	い	る	え	人
章	と	を	一	る	か	で	間
B	述	交	人	。	承	の	が
の	べ	わ	そ	ま	認	課	周
筆	ら	し	れ	た	を	題	囲
者	れ	、	ぞ	、	と	に	の
が	て	議	れ	文	る	つ	人
言	い	論	一	章	か	い	と
う	る	を	と	B	が	て	関
よ	。	深	い	で	問	、	わ
う		め	う	は	題	文	り
に		る	考	、	で	章	な
一		の	え	対	あ	A	が
人		を	方	立	る	で	ら
そ		難	が	を	と	は	生
れ		し	、	さ	述	、	き
ぞ		く	率	け	べ	自	て
れ		し	直	る	ら	由	い
一		て	に	た	れ	を	く

100 20

問三													
で	と	で	前	に	意		見	で	相	な	て	し	と
き	こ	、	に	感	見	異	を	表	手	議	い	か	考
る	ろ	不	相	じ	と	な	言	現	の	論	る	し	え
の	を	要	手	て	い	る	う	す	立	が	の	同	る
で	残	な	の	し	う	意	よ	る	場	で	か	時	こ
は	し	対	意	ま	よ	見	う	こ	や	き	を	に	と
な	な	立	見	い	り	が	に	と	意	な	ご	、	は
い	が	を	を	や	も	ぶ	し	を	見	く	ま	そ	対
か	ら	防	尊	す	自	つ	た	心	を	な	か	の	立
と	、	ぐ	重	い	分	か	い	が	尊	る	す	分	を
思	率	一	す	。	自	り	と	け	重	お	よ	自	さ
う	直	人	る	自	身	合	私	、	す	そ	う	分	け
。	で	そ	姿	分	が	う	は	そ	る	れ	な	が	る
	前	れ	勢	の	否	と	思	の	姿	が	形	本	た
	向	ぞ	を	意	定	、	う	後	勢	あ	に	当	め
	き	れ	見	見	さ	ど	。	で	を	る	な	に	に
	な	一	せ	を	れ	う		自	先	と	っ	ど	は
	議	の	る	述	た	し		分	に	思	て	う	有
	論	良	こ	べ	よ	て		の	言	う	率	思	効
	が	い	と	る	う	も		意	葉	。	直	っ	だ。
440		400					300					200	

(配点)
 { 問一 15点
 問二 35点
 問三 50点 } 計100点

障害しょうがいになつていてという**文章B**の筆者の意見に同意できるところがあれば、それを解消するための方法を考えることで自分の意見をまとめることができます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。基本的に、どちらの文章を選ぶか、また、どのような意見を主張するかということゆうれつで優劣はつきません。あなたの考えを読んだ人が納得みんたくしやすいように意識して意見を書きましよう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① **文章A**と**文章B**それぞれに書かれた、周囲と関わりながら生きるうえでの課題について、それぞれの筆者の考えが書かれているか

② ①の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第二段落について

③ **文章A**と**文章B**のいずれかの筆者の周囲との関わり方に関する指摘しごをふまえて、自分の意見が書かれているか

④ ③の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第三段落について

⑤ 第二段落に書いたことについての理由が書かれているか

⑥ ⑤の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

⑦ 段落が問題の指示しきに従って分けられているか

⑧ 答案用紙の使い方が正しいか

⑨ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか
⑩ 字数制限が守られているか

【解説】

問一 B1 情報を獲得する 具体化 関係づけ

文章Aの「社会で共有された絶対的な価値観」は、現代社会が「自由に生きることが可能な社会」となった一方でなくなつたものです。これは、次の段落で具体例として挙げられているものように、集団に所属する一人一人に「宗教や政治的イデオロギー」を強制するものです。それらの強制によって、以前の社会では人と人の付き合いが強制される側面がありました。これと同じ内容をふくみ、「人間関係」について述べられているのは文章Bの第二〜第五段落です。十七字という条件をふまえると、「人と人を強固に結びつけてきた接着剤」をぬき出すことができます。

問二 B2 具体化 関係づけ 理由

文章Bの傍線部直前の「しかし」に注目すると、『長屋紳士録』という映画のあらすじに関する表現から感じられる「昔ながらの温かなつながり」を裏切るような内容がこの後に続いていくことがわかります。直接的な理由は傍線部直後の「その理由は、登場する人びとの感情的な交流の少なさにあります」という部分にはつきり書かれていますから、これを軸に答えを考えましょう。傍線部は「今の人々が見ると」の部分にも引かれています。したがって、「今の人々」にとつて「感情的な交流」がどのようなものを説明し、この映画における「感情的な交流の少なさ」と対比させる必要があることがわかるでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

① 「今の人々」にとつて、感情的な交流が重要なものである

ことと、それに比べて『長屋紳士録』では感情的な交流が少ないことが書かれているか

② ①に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

③ 表記が正しいか

問三 C2 理由 置き換え 推論

文章Aと文章Bに書かれたことをふまえながら、周囲の人と関わりながら生きていくうえで必要なこと、という課題についてあなたの考えを述べる問題です。

第一段落では、文章Aと文章Bそれぞれに書かれた、周囲と関わりながら生きるうえでの課題についてまとめます。

文章Aの最終段落には「自由と承認の葛藤」こそ、現代を生きる私たちにとつて、とても大きな課題となっているのです」と書かれています。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

また、文章Bの最終段落には「不安定なつながりの中を生きる私たちは、『人それぞれ』という言葉を使って、お互いの意見のぶつかり合いを避けています。このようななかで率直に意見を交わし、議論を深めるのはそう簡単ではありません。」と書かれています。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

第二段落では、文章Aと文章Bのいずれかの筆者の周囲と関わりながら生きるうえでの課題に関する意見をふまえて、あなたの意見を書きます。たとえば、「自由と承認の葛藤」が大きな課題になっているという文章Aの筆者の意見に同意できるころがあるれば、そのバランスをうまく取るための方法を考えることで自分の意見をまとめることができます。また、「人それぞれ」という考え方が率直な意見を交わして議論することの